



2009年は賀川豊彦献身100年記念年です

2008年1月9日

『一粒の麦』再版のご案内

1931年（昭和6年）に賀川豊彦が雑誌『雄弁』（講談社）に連載していた『一粒の麦』を単行本として発刊し、以降、200版近く版を重ねました。このたび、賀川豊彦愛知県三河地方活動満100年記念事業として、再版されましたのでお知らせいたします。

賀川豊彦「一粒の麦」再版の序文 聖路加国際病院 理事長 日野原 重明（賀川豊彦の主治医）

賀川豊彦先生は、私の父と共に神戸市で基督教の伝道を行ないつつ、貧民層の住民のための社会事業を行なわれたことを当時中学生だった私は覚えています。賀川先生はそのような活動をされながら書かれた小説「死線を越えて」はベストセラーとなったが、その後農民問題をテーマに書かれたのが、今般再版される「一粒の麦」です。

これは漁業問題を取り扱った「海豹のごとく」と教育問題を扱った「その流域」とそれに「第三紀層の上に」と題した小説と共に四部作の小説として書かれたのが本著です。

賀川豊彦先生の臨死時の先生の姿は、私の著書「死をどういきたか - 私の心に残る人々」（中公新書1983年）の中に紹介しました。

先生は宗教家であり、基督教の伝道者であり、それでいて科学者でもあり、また人文学者、社会学者、そして文芸作家でもありました。

賀川先生は戦前には欧米に広く知られ、一時ノーベル賞の候補にもされたという噂を私は医学生時代に聞かされました。

この農村問題を基督教的背景の中で書かれた「一粒の麦」が、今般イエスの友会三河支部およびみかわ市民生活協同組合の好意により再版されることをしり、主治医でもあった私は喜んで序文を書かせていただいたと思います。また、このことを心から喜んでお引き受けしたと思います。

賀川豊彦先生の農村問題の中に具現された基督教精神は、この小説の中に今も輝いていると思います。

賀川豊彦『一粒の麦（再版）』のご紹介

著書名 『一粒の麦』

（1931年2月に発刊されたものを再版）

著者 賀川豊彦

ページ 302頁

定価 945円 送料390円（計1,290円）

発行者 賀川豊彦『一粒の麦』を再版する会
代表：二村撰三（ふたむら せつぞう）

所在地 愛知県岡崎市明大寺町向山2-1

連絡先 0564-51-8992

お申し込み先（書籍購入のお申し込みは電話またはFAXにて）

申込先 賀川豊彦『一粒の麦』を再版する会 事務局：鈴木定男

所在地 〒440-0865 豊橋市向山台町12-3

連絡先（TEL & FAX）0532-52-8757



以上、ご案内申し上げます。

Press Center

賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト委員会プレスセンター